

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 31 年 月 日

計画の名称	2 子どもたちの命を守り、通学路の交通安全確保を図る「安全・安心な石川の道」整備計画（防災・安全）		
計画の期間	平成25年度 ～ 平成29年度（5年間）	交付対象	石川県、金沢市、七尾市、小松市、羽咋市、かほく市、白山市、能美市、野々市市、津幡町、内灘町、志賀町、宝達志水町、中能登町、穴水町
計画の目標			

・学校関係者や警察などと合同で行った通学路の緊急合同点検の結果を踏まえ、子供たちの命を守るため、要対策箇所の交通安全対策を速やかに実施し、「安全・安心な石川の道」の確保を図る。

計画の成果目標（定量的指標）	・通学路の緊急合同点検における危険箇所の交通安全対策を進め、安全・安心な通学路の確保を図る。
----------------	--

定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値			備考						
	当初現況値 (H25当初)	中間目標値 (H27末)	最終目標値 (H29末)							
通学路の安全確保率 (通学路の安全確保率) = (道路管理者による要対策箇所の対策済箇所数) ÷ (道路管理者による要対策箇所数)	40 %	75 %	91 %	・(石川中央都市圏ビジョン)に基づき実施される要素事業：金沢市、白山市、かほく市、野々市市、津幡町、内灘町でのA事業全て						
全体事業費	合計 (A+B+C)	14,213百万円	A	14,213百万円	B	0百万円	C	0百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.0%

中間評価

○事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
石川県において評価を実施	事業完了後 公表の方法 石川県ホームページで公開

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	・整備の促進により、危険箇所が解消され、通学路の安全性が向上した。	
II 定量的指標の達成状況	指標（通学路の安全確保率）	最終目標値 91 %
		最終実績値 99 %
	目標値と実績値に差が出た要因	計画的な事業実施により、目標が達成された。

III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	
--	--

3. 特記事項（今後の方針等）

・計画終了後も、引き続き通学路の安全確保に必要な対策を進めていくこととしている。